

授業中に地震が起こったら・・・

教室にいる学生に以下を指示してください。

●ゆれている最中

<身の安全確保とパニック防止>

- ①「落ち着きなさい！」
- ②「外に飛び出さないで、この教室で待機しなさい！」
- ③「ドアのそばの人はドアを開けなさい！」
- ④「窓ガラスや天井の蛍光灯、棚から離れなさい！」
「机の下に入るか、頭をかばんなどで守りなさい！」

<自動放送の受信>

震度4以上6までなら、震度を知らせる自動放送が流れます。

<教室内に待機>

「避難を開始してください」の放送があるまでは、教室内で待機してください。

●ゆれが収まったら

<状況の確認>

- ①「怪我人はいるか？」
- ②「ガラスが割れたり、壊れたりしたものはないか？」

異常がなければそのまま授業を続けてください。

<状況の報告先>

避難指示がでた場合は、到着したフロア担当職員へ。

避難指示がでなかったが、異常があった場合は、各階廊下にある緊急電話にて、

防災センター 2157 または **守衛室 2159**へ。

●避難開始の放送があったら

- ①「これからグラウンドに移動する！」（避難経路は裏面参照）

「階段を使うこと。エレベータは使わない！」

- ②「係員の指示にしたがい、落ち着いて移動すること！」

「落下物があるかもしれない。頭をかばんなどで守りなさい！」

全員が教室外に出たことを確認し、先生もグラウンドへ避難してください。

各棟各フロアの担当職員が、避難誘導をお手伝いします。